



平成30年11月5日

各 位

上場会社名 株式会社 タムラ製作所  
 代表取締役社長 田村 直樹  
 (コード番号 6768)  
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員 経営管理本部長 橋口 裕作  
 (TEL 03-3978-2031)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	90,000	6,300	6,100	4,700	57.31
今回修正予想(B)	87,300	5,400	5,300	4,500	54.87
増減額(B-A)	△2,700	△900	△800	△200	
増減率(%)	△3.0	△14.3	△13.1	△4.3	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	85,558	5,407	5,480	3,630	44.27

#### 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の状況といたしまして、電子部品関連事業におけるユニット製品の工場稼働の悪化や、本年9月27日にお知らせした電源機器の不具合に伴う修理費用の計上などにより収益性が悪化しております。また、市場の先行きについても、中国におけるインフラ投資の減速などを背景に、産業機械向けの電子部品をはじめとして不透明な状況が予想されます。

こうした状況を鑑み、平成30年5月10日に公表いたしました平成31年3月期通期連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ下方修正いたします。なお、特別利益項目に工場売却益の計上を新たに見込むことから、親会社株主に帰属する当期純利益の減益幅は縮小いたします。厳しい状況ではございますが、収益性の向上を第一とする中期経営計画の最終年度として、営業利益は前期実績並みの到達を目指し、親会社株主に帰属する当期純利益は平成29年3月期を越える過去最高益の更新を目指してまいります。

(注)業績予想につきましては、本資料作成時現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上